

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-175431

(43)Date of publication of application : 21.06.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 2000-373021

(71)Applicant : MITSUI & CO LTD
BUSSAN TELECOM KK

(22)Date of filing : 07.12.2000

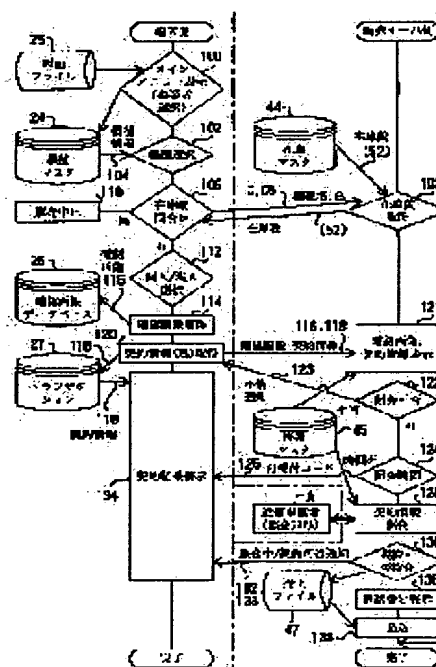
(72)Inventor : YAMAGUCHI TORU
NAMIKI KOICHI

(54) METHOD FOR SELLING PORTABLE TELEPHONE AND SYSTEM FOR THE SAME

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To smoothly realize the selling of a portable telephone accompanied with a contract mediating task by a terminal.

SOLUTION: At the time of selling a portable telephone to a customer by mediating a contract with a communication agent by a terminal communicatable with a server computer, contract information 118 including device kind information 104 is acquired from the terminal side, and transmitted to a selling server side (a step 106 and a step 120), and the selling server displays (a step 121) and transmits (a step 128) the contract information 118 received from the terminal to a collating system A related with the contract of the communication agent.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 15.01.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 24.12.2003

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 サーバコンピュータと通信可能な端末によって、携帯電話を、顧客に、通信事業者との契約を仲介したうえで販売するにあたり、
端末は、仲介に係る契約情報を取得してサーバコンピュータに送信し、
サーバコンピュータは、端末から受信した契約情報を、通信事業者に送信する前に表示することを特徴とする携帯電話販売方法。

【請求項 2】 サーバコンピュータは、契約情報を通信事業者に送信することにより得られた携帯電話番号を、携帯電話へ入力するために表示することを特徴とする請求項 1 に記載の携帯電話販売方法。

【請求項 3】 端末は、契約情報として携帯電話の機種を取得し、
サーバコンピュータは、機種とその在庫数とを対応づけて格納しており、
機種を受信すると、在庫数を参照し、所定数に満たない場合に、端末に在庫無し通知を送信し、
在庫無し通知を受信した端末は、在庫が無い旨を表示すると共に販売を中止することを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の携帯電話販売方法。

【請求項 4】 サーバコンピュータは、通信事業者の照会時間外であると、契約情報を通信事業者に送信する前に再受付コードを発行し、端末に通知して表示させると共に入力された契約情報と対応づけて格納し、
後に端末により取得され通知された再受付コードを受信すると、これを基に格納した契約情報を販売続行のために読み出すことを特徴とする請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載の携帯電話販売方法。

【請求項 5】 サーバコンピュータは、再受付コードと対応づけて格納した契約情報を、次の照会時間内に通信事業者に送信し、その結果を契約情報と対応づけて格納しておいて、販売続行の際読み出すことを特徴とする請求項 4 に記載の携帯電話販売方法。

【請求項 6】 端末は、顧客の確認画像を取得してサーバコンピュータに送信し、
サーバコンピュータは、契約情報を通信事業者に送信する前に、確認画像を表示することを特徴とする請求項 1 から請求項 5 のいずれかに記載の携帯電話販売方法。

【請求項 7】 契約情報のみを取得してサーバコンピュータに送信する端末と、確認画像、又は確認画像及び残りの契約情報を取得してサーバコンピュータに送信する端末とが、別個に設けられていることを特徴とする請求項 6 に記載の携帯電話販売方法。

【請求項 8】 契約情報のみを取得してサーバコンピュータに送信する端末が、インターネットを介してサーバコンピュータと接続されていると共に、
確認画像、又は確認画像及び残りの契約情報を取得してサーバコンピュータに送信する端末が、専用網のみを介

してサーバコンピュータと接続されていることを特徴とする請求項 6 又は請求項 7 に記載の携帯電話販売方法。

【請求項 9】 通信事業者との契約を仲介したうえでの、顧客に対する携帯電話の販売を、通信により端末に実行させる、下記 (a) 及び (b) の手段を備えたサーバコンピュータを含む、携帯電話販売システム。

(a) 端末から受信した仲介に係る契約情報を表示する契約表示手段

(b) 契約表示手段により表示した契約情報を通信事業者へ送信する照会手段

【請求項 10】 サーバコンピュータが、下記 (c) の手段を備えている請求項 9 に記載の携帯電話販売システム。

(c) 契約情報を通信事業者に送信することにより得られた携帯電話番号を表示する調整補助手段

【請求項 11】 サーバコンピュータが、下記 (d) 及び (e) の手段を備えている請求項 9 又は請求項 10 に記載の携帯電話販売システム。

(d) 機種とその在庫数とを対応づけて格納する在庫格納手段

(e) 端末から機種を受信すると、在庫数を参照し、所定数に満たない場合に、端末に在庫無し通知を送信し、販売を中止する在庫無し時中止手段

【請求項 12】 サーバコンピュータが、下記 (f) 及び (g) の手段を備えている請求項 9 から請求項 11 のいずれかに記載の携帯電話販売システム。

(f) 通信事業者の照会時間外であると、契約情報を通信事業者に送信する前に再受付コードを発行し、端末に送信すると共に入力された契約情報と対応づけて格納する再受付手段

(g) 端末から通知された再受付コードを基に、再受付手段における契約情報を販売続行のために読み出す続行手段

【請求項 13】 サーバコンピュータが、下記 (h) の手段を備えている請求項 12 に記載の携帯電話販売システム。

(h) 再受付手段における契約情報を、次の照会時間内に通信事業者に送信し、その結果を契約情報と対応づけて格納しておく再照会手段

【請求項 14】 サーバコンピュータが、下記 (i) の手段を備えている請求項 9 から請求項 13 のいずれかに記載の携帯電話販売システム。

(i) 端末から送信された確認画像を表示する確認表示手段

【請求項 15】 サーバコンピュータが、下記 (j) の手段を備えている請求項 14 に記載の携帯電話販売システム。

(j) 確認画像、又は確認画像及び契約情報と、契約情報、又は他の契約情報とを、別の端末から受信する分散的通信手段

【請求項 16】 サーバコンピュータが、下記 (k) の手段を備えている請求項 14 又は請求項 15 に記載の携帯電話販売システム。

(k) 確認画像、又は確認画像及び契約情報を、専用網のみを経由して受信すると共に、他の契約情報を、インターネットを経由して受信する選択的通信手段

【請求項 17】 通信事業者との契約を仲介したうえでの、顧客に対する携帯電話の販売を、サーバコンピュータとの通信により行う、下記 (l) 及び (m) の手段を備えた端末を含む、携帯電話販売システム。

(l) 契約情報を取得し、サーバコンピュータに送信する契約取得手段

(m) 顧客の確認画像を取得し、サーバコンピュータに送信する画像取得手段

【請求項 18】 端末とサーバコンピュータとの間に、各端末の情報を統括する端末統括サーバコンピュータが介在された請求項 9 から請求項 17 のいずれかに記載の携帯電話販売システム。

【請求項 19】 端末とサーバコンピュータとの間に、各端末の情報を統括する端末統括サーバコンピュータが介在されており、端末統括サーバコンピュータに、確認画像データベースが配置されている請求項 14 から請求項 17 のいずれかに記載の携帯電話販売システム。

【請求項 20】 端末統括サーバコンピュータに、携帯電話の機種情報が配置されている請求項 18 又は請求項 19 に記載の携帯電話販売システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、端末を利用して携帯電話を販売（機種変更を含む）する方法、及び携帯電話を販売するシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】 サーバコンピュータ（サーバ）と接続された端末による通常の商品の販売は、各種店舗へのマルチメディア端末の配備が促進されていることもあり、多数行われるようになっている。かかる販売において、端末は、顧客の希望商品と個数の入力に基づき、顧客にバウチャー（バーコードを付したレシート）を発行すると共にサーバに商品発注情報を提示し、顧客は、商品発注情報に基づき発送された商品を、バウチャー及び代金と引き替えに受け取る。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 このような販売は、至近の店舗利用のついで等空いている時間に気兼ねなく利用してもらえ便利であるので、昼間営業の特定店舗でしか手に入らない携帯電話をも取り扱うことが望まれているが、携帯電話の販売は、通常の商品の販売と異なり、多数ある機種や料金プランの選択、顧客の厳重確認、昼間にしか行えない通信事業者への契約の照会、契約不能

時の配慮、及び携帯電話への電話番号の入力といった、契約仲介業務と調整とを伴うことから、従来のサーバ及び端末では、円滑に実行するに足りない。

【0004】 よって、本発明の課題は、契約仲介業務が付随する携帯電話の端末による販売を、円滑に行うことにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明のうち、請求項 1 に記載の発明は、サーバコンピュータと通信可能な端末によって、携帯電話を、顧客に、通信事業者との契約を仲介したうえで販売するにあたり、端末は、仲介に係る契約情報を取得してサーバコンピュータに送信し、サーバコンピュータは、端末から受信した契約情報を、通信事業者に送信する前に表示することを特徴とする。

【0006】 又、請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の発明において、サーバコンピュータは、契約情報を通信事業者に送信することにより得られた携帯電話番号を、携帯電話へ入力するために表示することを特徴とする。

【0007】 更に、請求項 3 に記載の発明は、請求項 1、請求項 2 に記載の発明において、端末は、契約情報として携帯電話の機種を取得し、サーバコンピュータは、機種とその在庫数とを対応づけて格納しており、機種を受信すると、在庫数を参照し、所定数に満たない場合に、端末に在庫無し通知を送信し、在庫無し通知を受信した端末は、在庫が無い旨を表示すると共に販売を中止することを特徴とする。

【0008】 加えて、請求項 4 に記載の発明は、請求項 1 から請求項 3 に記載の発明において、サーバコンピュータは、通信事業者の照会時間外であると、契約情報を通信事業者に送信する前に再受付コードを発行し、端末に通知して表示させると共に入力された契約情報と対応づけて格納し、後に端末により取得され通知された再受付コードを受信すると、これを基に格納した契約情報を販売続行のために読み出すことを特徴とする。

【0009】 又、請求項 5 に記載の発明は、請求項 4 に記載の発明において、サーバコンピュータは、再受付コードと対応づけて格納した契約情報を、次の照会時間内に通信事業者に送信し、その結果を契約情報と対応づけて格納しておいて、販売続行の際読み出すことを特徴とする。

【0010】 更に、請求項 6 に記載の発明は、請求項 1 から請求項 5 に記載の発明において、端末は、顧客の確認画像を取得してサーバコンピュータに送信し、サーバコンピュータは、契約情報を通信事業者に送信する前に、確認画像を表示することを特徴とする。

【0011】 又更に、請求項 7 に記載の発明は、請求項 6 に記載の発明において、契約情報のみを取得してサーバコンピュータに送信する端末と、確認画像、又は確認画像及び残りの契約情報を取得してサーバコンピュータ

10

20

30

40

50

に送信する端末とが、別個に設けられていることを特徴とする。

【0012】加えて、請求項8に記載の発明は、請求項6、請求項7に記載の発明において、契約情報のみを取得してサーバコンピュータに送信する端末が、インターネットを介してサーバコンピュータと接続されていると共に、確認画像、又は確認画像及び残りの契約情報を取得してサーバコンピュータに送信する端末が、専用網のみを介してサーバコンピュータと接続されていることを特徴とする。

【0013】一方、請求項9に記載の発明は、通信事業者との契約を仲介したうえでの、顧客に対する携帯電話の販売を、通信により端末に実行させる、(a) 端末から受信した仲介に係る契約情報を表示する契約表示手段、及び(b) 契約表示手段により表示した契約情報を通信事業者へ送信する照会手段を備えたサーバコンピュータを含んで成る。

【0014】又、請求項10に記載の発明は、請求項9に記載の発明において、サーバコンピュータが、(c) 契約情報を通信事業者に送信することにより得られた携

帯電話番号を表示する調整補助手段を備えて成る。

【0015】更に、請求項11に記載の発明は、請求項9又は請求項10に記載の発明において、サーバコンピュータが、(d) 機種とその在庫数とを対応づけて格納する在庫格納手段、及び(e) 端末から機種を受信すると、在庫数を参照し、所定数に満たない場合に、端末に在庫無し通知を送信し、販売を中止する在庫無し時中止手段を備えて成る。

【0016】又更に、請求項12に記載の発明は、請求項9から請求項11に記載の発明において、サーバコンピュータが、(f) 通信事業者の照会時間外であると、契約情報を通信事業者に送信する前に再受付コードを発行し、端末に送信すると共に入力された契約情報と対応づけて格納する再受付手段及び(g) 端末から通知された再受付コードを基に、再受付手段における契約情報を販売続行のために読み出す続行手段を備えて成る。

【0017】加えて、請求項13に記載の発明は、請求項12に記載の発明において、サーバコンピュータが、(h) 再受付手段における契約情報を、次の照会時間内に通信事業者に送信し、その結果を契約情報と対応づけて格納しておく再照会手段を備えて成る。

【0018】又、請求項14に記載の発明は、請求項9から請求項13に記載の発明において、サーバコンピュータが、(i) 端末から送信された確認画像を表示する確認表示手段を備えて成る。

【0019】更に、請求項15に記載の発明は、請求項14に記載の発明において、サーバコンピュータが、(j) 確認画像、又は確認画像及び契約情報と、契約情報、又は他の契約情報とを、別の端末から受信する分散的通信手段を備えて成る。

【0020】加えて、請求項16に記載の発明は、請求項14、請求項15に記載の発明において、サーバコンピュータが、(k) 確認画像、又は確認画像及び契約情報を、専用網のみを経由して受信すると共に、他の契約情報を、インターネットを経由して受信する選択的通信手段を備えて成る。

【0021】他方、請求項17に記載の発明は、通信事業者との契約を仲介したうえでの、顧客に対する携帯電話の販売を、サーバコンピュータとの通信により行う、

(1) 契約情報を取得し、サーバコンピュータに送信する契約取得手段、及び(m) 顧客の確認画像を取得し、サーバコンピュータに送信する画像取得手段を備えた端末を含んで成る。

【0022】又、請求項18に記載の発明は、請求項9から請求項17に記載の発明において、端末とサーバコンピュータとの間に、各端末の情報を統括する端末統括サーバコンピュータが介在されて成る。

【0023】更に、請求項19に記載の発明は、請求項14から請求項17に記載の発明において、端末とサーバコンピュータとの間に、各端末の情報を統括する端末統括サーバコンピュータが介在されており、端末統括サーバコンピュータに、確認画像データベースが配置されて成る。

【0024】加えて、請求項20に記載の発明は、請求項18、請求項19に記載の発明において、端末統括サーバコンピュータに、携帯電話の機種情報が配置されて成る。

【0025】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施形態につき、図面に基づいて説明する。図1は、携帯電話販売システムの全体説明図であって、携帯電話販売システム1は、各種店舗に配置されたマルチメディア端末(端末)2、2・・・、端末統括サーバコンピュータ(端末統括サーバ)3、携帯電話販売サーバコンピュータ(販売サーバ)4を備え、これら端末及びサーバ2～4は、専用網Nに接続されている。尚、通信事業者A、B・・・における携帯電話契約の照会システムA、B・・・(符号を統一して用いる)も、同様に専用網Nに接続されている。

【0026】端末2は、図2に示すように、CPUやRAM等から構成される端末制御手段10、端末通信手段11、ROMやハードディスク等から構成される端末格納手段12、タッチパネル14、スキャナ15、CCDカメラ16、テンキー17、スピーカ18、ハンドセット19等からなる。

【0027】端末制御手段10は、各部の制御、各種演算、情報の転送、揮発的なデータの記憶等を行う。端末通信手段11は、専用網Nへの情報の入出力を調整する。端末記録手段12は、各種情報が不揮発的に記録されるもので、端末プログラム13を格納可能である。タッチパネル14は、様々な表示を行うと共に、適宜その

表示に関連して画面上の特定位置への接触乃至接近を感じし、入力を受け付ける。スキャナ 15 は、書類や写真をコンピュータへ記録可能に画像化し、CCD カメラ 16 は、タッチパネル 14 への入力者即ち顧客の、顔を中心とした映像を取り込む。端末プログラム 16 は、端末制御手段 10 において用いられ、各種機能を実現する。テンキー 17 は、0 から 9 の数字キーや Enter キー等を備え、キーの押下により入力を受け付ける。スピーカ 18 は、専用網 N を通じて受けた音声を出し、ハンドセット 19 は、専用網 N を介して音声を入出力する。

【0028】端末統括サーバ 3 は、図 3 に示すように、統括制御手段 20、統括通信手段 21、統括格納手段 22 等からなり、これらは端末 2 の対応手段と同様に構成される。但し、統括格納手段 22 は、統括プログラム 23 の他、機種マスタ 24、画面ファイル 25、確認画像データベース 26、トランザクション 27 をも格納可能である。

【0029】機種マスタ 24 は、図 4 に示すように、機種の属する通信事業者 30、機種が有する機能 31、機種名 32、外観を表す本体画像 33、紹介のためのコメント 34、この機種において契約可能な料金のプラン群（1 以上のプラン）35 及びオプション群（1 以上のオプションサービス又は機器）37、並びに選択可能な色 36 等が対応づけられることにより構成されていて、他のコンピュータから発せられた更新情報を、専用網 N から端末通信手段 12 を経由して受けることにより、適宜更新される。尚、機能 31 等の数は例示であり、幾つにでもできるものであって、以下同様である。

【0030】又、画面ファイル 25 には、メッセージ、メニュー、ボタン等を、端末 2 のタッチパネル 14 に描画するための情報が記載されている。更に、端末 2 のスキャナ 15 及び CCD カメラ 16 から得られる確認画像を蓄積する確認画像データベース 26 が設けられている。一方、トランザクション 27 は、端末統括サーバ 3 における入出力の経緯を適宜記録するものである。

【0031】販売サーバ 4 は、図 5 に示すように、端末 2 の対応手段と同様な、販売制御手段 40、販売通信手段 41、販売格納手段 42 等を備えると共に、ディスプレイ 48、キーボード 49、マイク 58 及びスピーカ 59 をも有する。ディスプレイ 48 は、販売制御手段 40 の制御に基づき、販売格納手段 42 に格納された情報等を表示し、キーボード 49 は、押下されたキーの種類を判別する信号を発し、入力を伝達する。マイク 58 は、専用網 N を介して、端末 2 のスピーカ 18 又はハンドセット 19 等に音声を出し、スピーカ 59 は、専用網 N を介して、端末 2 のハンドセット 19 等からの音声を発する。

【0032】更に、販売格納手段 42 は、販売プログラム 43 の他、在庫格納手段としての在庫マスタ 44、情報マスタ 45、トランザクション 46、売上ファイル 4

7 をも格納可能である。在庫マスタ 44 は、図 6 (a) に示すように、機種名 50、色 51 及び在庫数 52 等が対応づけられて構成される。又、情報マスタ 45 は、図 6 (b) に示すように、通信事業者 A、B・・・毎に、照会できる契約情報の種類 53 を対応づけてなる。ここで、種類 53 は、照会のため送信が必須であるか任意であるかや、要求される形式（例えば、文字数の制限や、全半角又は仮名の相違）の情報をも含む。又、契約情報とは、契約者の住所や名義等、後述及び図示するような、契約に関連して取得される個々の情報である。

【0033】一方、トランザクション 46 においては、販売サーバ 4 における入出力の経緯を適宜記録する。又、売上ファイル 47 は、端末 2、・・・による携帯電話の販売状況を反映した情報を記録している。尚、通信の確実性や安全性を確保すべく、各種通信手段 11、21、41 乃至専用網 N は、適宜ルータ、LAN、ソフトウェア又はハードウェアによる暗号化手段、ファイアーウォール等を含む。

【0034】このような携帯電話販売システム 1 による携帯電話の新規販売方法について説明する。尚、端末 2 及び端末統括サーバ 3、或いは更に販売サーバ 4 も含めて、通常の商品の取り扱いも行うようにできるが、ここでは携帯電話の販売についてのみ述べる。

【0035】携帯電話の新規販売は、各種プログラム 11、21、41 に従って図 7 のように行われる。即ち、端末統括サーバ 3 は、端末 2 のタッチパネル 14 において、図 8 のような携帯電話販売に関するメインメニューを表示させる（ステップ 100）。この表示において、統括制御手段 20 は、端末通信手段 11 から発せられた端末 2 の接続要求を、専用網 N を介し統括通信手段 21 にて受けると、要求に応じて要求を発した端末 2 との接続を確保すると共に、統括格納手段 22 内の画面ファイル 25 を、端末通信手段 11 を介して端末格納手段 12 に格納させるべく送信する。格納された画面ファイル 25 は端末制御手段 10 により参照されてメインメニューが描画される。

【0036】メインメニューにおいては、メッセージ 200、及び通信事業者 A、B を表す画像でなるボタン 202、204 の表示により、通信事業者 A、B を選択するための入力を促すこととしており、端末制御手段 10 は、タッチパネル 14 のボタン 202 に対して入力があると、通信事業者 A を選択したものと判断し、通信事業者 A における機種選択（ステップ 102）に移行すべく、かかる選択を端末統括サーバ 3 に通知する。尚、選択や選択肢の数は例示であり、他方を選んで内容以外は同様の処理がなされ、以下同様である。又、ボタン 202、204 は、テンキー 17 の対応するキーの押下により入力することもでき、いずれの入力においても同様にテンキー 17 を利用できる。

【0037】通信事業者 A を選択した旨の通知を統括通

10

20

30

40

50

信手段21にて受けると、統括制御手段20は、機種マスタ26における事業者30の欄を参照し、通信事業者Aであるものを抽出して、機能31乃至色36等の機種情報104を端末2に送信し、適宜図9のような画面を描画させて、機種選択のための入力に応じさせる。即ち、端末制御手段10は、送信により格納された機種情報104の内、機種名32(C, D...)を参照してタッチパネル14に並べ、更に機種名Cにマーク206を付す。又、マーク206を付した機種名Cに係る色C6, C7を、機種名32と同様に表示すると共に、機能31の一部、本体画像C1(C2)、コメントC3を表示する。

【0038】マーク206は、機種名C, D...付近への入力により移動され、付随する機能等31~36は、機種情報104に基づき変更される。又、色36に関しても同様で、本体画像33の色彩情報のみが増えられ。尚、機能等31~36が多数有り一度に表示できない場合には、例えば折り畳み可能な機種名Cにおいて、閉じた状態の本体画像C2を表示するために本体画像33に入力を促すこととし、機種名32に付随して次ボタンの表示をし、このボタンへの入力により新たな機種名32を配列する等、他の情報の表示のための入力を待機する。又、機能31の表示部に入力があると、各機能のボタンを表示し、その機能を有する機種群に表示を変えるようにもできる。

【0039】更に、機種選択に係るタッチパネル14には選択ボタン208も配置されており、入力があると、現在マーク206等が付されている機種名32(C)及び色36(C6)が端末統括サーバ3へ通知され、この通知に基づき、統括制御手段20によって機種名C等がトランザクション27へ契約情報118の一部として一旦保存され、機種名32等に係る機種の在庫数52の間合せ(ステップ106)に移行する。尚、戻るボタン210も配され、入力によりメインメニューを表示する。

【0040】在庫数52は、販売サーバ4の在庫マスタ44にて管理されており、端末統括サーバ3は、機種名32等を販売サーバ4に送信することで在庫数52の取得(ステップ108)を依頼する。販売制御手段40は、販売通信手段41にて受けた機種名C及び色C6を基に在庫数52(ここでは30個)を引き出して返信することにより、在庫数52が0個(在庫無し通知)であり、その旨及び販売中止に関するメッセージを出したうえでステップ102等に戻らせるか(ステップ110、在庫無し時中止手段)、又は在庫があって個人/法人選択(ステップ112)に進ませるかを、統括制御手段20に判断させる。統括制御手段20はこの判断結果に基づく画面を端末2のタッチパネル14に表示させる。個人/法人選択の場合は、各々を表示するボタンを表示させて選択を受け付け、この結果は送信され、契約情報118の一部として統括制御手段20によりトランザクシ

ョン27に格納される。

【0041】個人/法人選択の後は確認画像の取得(ステップ114、画像取得手段)を行う。即ち、タッチパネル14に「免許証をスキヤナにセットし『スキヤン』ボタンを押して下さい」といったメッセージ及びボタンやこの操作を表現した画像等が表示され、顧客に顔写真を含む身分証のスキヤナ15への設置を促す。スキヤンボタンへの入力があると、端末制御手段10はスキヤナ15を制御し、身分証を確認画像116として取り込む。尚、適宜運転免許証やパスポート等、身分証の種類の入力を促したり、取り込み後、同様に身分証の裏面のスキヤンを促し、確認画像116を生成したりする。

【0042】更に、身分証のスキヤンに伴い、統括制御手段20はCCDカメラ16を作動させ、端末操作者の顔付近の映像を取り込み、別個の確認画像116を作成する。そして、確認画像116...は、端末統括サーバ3に送信されて、確認画像データベース24への格納に供される。

【0043】顧客の顔の画像と身分証の画像との組み合わせによる確認画像116が取得されたら、方式、パスワード(暗証番号)、名前、住所(及び請求書送付先)、通話料金支払口座、電話番号、生年月日(個人のみ)、料金プラン、オプションといった、契約情報118の残りの入力を次々に促す(ステップ120)。

【0044】ここで、画面ファイル25に基づき描かれる、個人氏名入力の画面は図10のように、個人生年月日入力画面は図11のように、料金プランの選択画面は図12のように、オプション選択画面は図13のようになり、各々の続きボタン212への入力に応じ、各選択肢を通知させて、トランザクション27に保存する。

又、パスワードの入力にあっては同一のものを再度入力させる確認入力欄を設け、住所にあっては郵便番号の入力により判明する部分まで自動表示し、料金プランやオプションでは通信事業者Aや機種によって選択できないものは表示しない。更に、これら入力の間には、図14のような金額確認画面を、トランザクション27と画像ファイル25とに基づき表示し、この場合はトランザクション27には金額確認まで進んだことを記憶する。

尚、プラン群C4は、図12に示す複数のプランを指定するものであり、オプション群C5は、図13に示す複数のオプションを指定するものである。

【0045】そして、統括制御手段20は、確認画像データベース26及びトランザクション27を参照し、確認画像116及び契約情報118を、販売サーバ4へ送信する。販売制御手段40は、確認画像116及び契約情報118を受信すると、トランザクション46に格納し、更に図15のようにディスプレイ48において表示する(ステップ121、確認表示手段及び契約表示手段)。尚、販売制御手段40は、契約情報118の内の選択された通信事業者Aに基づいて情報マスタ45を参

照し、通信事業者Aの要求に適合する種類或いは形式で契約情報118が揃っているかを、まず機械的に判断する。揃っていないれば、不足する契約情報118を再度取得するよう、端末2に通知する。

【0046】更に、この表示中、販売制御手段40は、キーボード49において一定の入力を受けると、ステップ124を介して通信事業者Aへの契約情報118の照会（ステップ128、照会手段）を実行する。一方、別の入力を受けると、不備通知123を直ちに端末統括サーバ3に通知し、契約情報118の照会（ステップ128）を行わない（ステップ122）。

【0047】不備通知123は、確認画像116及び契約情報118の種類に対応するコードを備えており、販売制御手段40は、ディスプレイ48に確認画像116及び契約情報118を表示することにより、販売サーバ4側のオペレータに、確認画像116及び契約情報118の予備的な確認を促す。オペレータは、予備確認において、機械的に取り除くことができなかった形式の相違や確認画像の取り込みの失敗といった不備がある場合に、不備を有する種類のコードを入力する。この入力により不備通知123が発せられ、不備通知123を受けた統括制御手段20は、不備のある確認画像116又は契約情報118を再取得すべく、ステップ120に戻る。この際、不備通知123に応じ、適宜不備の内容や詳細な操作説明等をタッチパネル14に表示したり、オペレータがマイク58、専用網N、端末統括サーバ3、及びスピーカ18又はハンドセット19を介して、音声により操作説明等をしたり、同様にハンドセット19やスピーカ59等を介して、顧客の質問を受けたりする。

【0048】又、契約情報118の確認がとれたら、通信事業者の照会システムAが稼働している時間であるかを確認する（ステップ124）。即ち、販売制御手段40は、現在が照会可能時刻かを、自らが発しているクロックを基に判断する。照会時間外であれば一意の再受付コード126（例えば10桁の数字）を発行し、トランザクション46に今回の入出力と関連づけて記録しておくと共に、統括通信手段22へ向けて送信し（再受付手段）、端末2において表示させる（ステップ134）。再受付コード126が付されたトランザクション46の記録は、クロックに基づいて、至近の受付時間に照会のため自動送信され、照会結果は関連づけられて格納される（再照会手段）。尚、照会可能時刻が通信事業者A、B・・・毎に異なるのであれば、情報マスタ45に記憶しておき、時間内か否かの判断時に参照する。

【0049】ここで、表示された再受付コード126が、営業時間到来後にメインメニューより上層の画面等において入力されたら、端末2はこれを端末統括サーバ3経由で販売サーバ4に通知し、販売制御手段40はトランザクション46内の再受付コード126が付された記録を抽出して、通信事業者Aの照会結果を、他の入力

を再度促すことなく得る（続行手段）。

【0050】一方、照会時間内であれば、契約情報118の照会（ステップ128）を行う。照会にあたっては、販売制御手段40は、契約情報118の内の選択された通信事業者Aに基づいて情報マスタ45を参照し、照会のため送信する契約情報118を、情報マスタ45を参照しつつ、通信事業者Aの要求に適合するように選択乃至加工しておく。そして、通信事業者の照会システムAに専用網Nを介して契約情報118を送信し、通信事業者Aとしての契約可否の返信を促す。販売制御手段40は、照会中にはその旨を、信号132により端末統括サーバ4を介して端末2に表示させる。

【0051】通信事業者Aから返信があると、販売制御手段40は、契約の可否をディスプレイ48において表示する。又、返信に付随して、契約可能である場合にこの契約に係る携帯電話番号を、又必要である場合に料金不納の事実及び期間や契約解除履歴を受信し、表示する。この表示により、予備確認の場合と同様、オペレータに、最終的な契約の可否の入力を促す。入力があれば、契約の可否を信号133により端末2に表示させ（ステップ130）、契約可能であれば、端末制御手段10にトランザクション27や画面ファイル25を参照させて、図16のような契約確認画面を表示させる（ステップ134）。尚、取消ボタン214に入力があると、端末統括サーバ3及び販売サーバ4に通知して販売を中断すると共に、表示をメインメニュー等に戻らせる。

【0052】更に、契約可能であると、販売制御手段40は、在庫マスタ44の内、契約に係る機種種の在庫を減少させ、売上ファイル47を更新する。売上ファイル47は、財務管理の他、携帯電話の発送管理にも用いられ、適宜トランザクション46を参照しながら、契約に係る機種種の、契約情報における住所への配送伝票を図示しないプリンタ等によって出力する（発送補助手段）。

【0053】又、配送前において、端末制御手段40は、通信事業者Aから通知され、ディスプレイ48に表示された携帯電話番号等を、携帯電話における電話番号入力等の調整に役立てる（ステップ136、調整補助手段）。そして、調整済みの携帯電話を、配送伝票を貼付したケースにて梱包し、携帯電話を発送し（ステップ138）、商品と引換に代金を受け取って、契約販売が完了する。

【0054】以上の携帯電話販売システム1では、販売サーバ4に、端末2から受信した契約情報118をディスプレイ48において出力する契約表示手段と、ディスプレイ48に表示した契約情報118及び関連情報を通信事業者A、B・・・へ送信する照会手段とを設け、通信事業者A、B・・・に照会する前に契約情報118を表示するようにしたので、ディスプレイ48に契約情報118が表示されたらこれを確認し、契約情報118が正し

く揃った場合に照会するといった照会前の予備確認を一連の動作で行え、予備確認及び照会を効率的に行うことができるし、契約情報118に不備があることを端末2に通知し、更には契約情報118の正しい再取得を案内することができる。尚、通信事業者A、B・・・の要求に適合するように調整したうえで契約情報118を照会するので、異なる通信事業者A、B・・・の販売も円滑に進む。又、照会により通知された携帯電話番号をディスプレイ48において表示する調整補助手段を設けたので、表示された携帯電話番号を参照しながら携帯電話へ入力させ、携帯電話に特有な発送前の調整まで含めて、円滑に販売を遂行することができる。

【0055】更に、スキャナ15及びCCDカメラ16により取得された確認画像116を、ディスプレイ48において照会前に表示する確認表示手段を有するので、予備的な確認にあたり、契約情報118の真偽を裏付ける確認画像116を、オペレータに容易に参照させて、予備確認の手早く確実な実行を補助することができるし、スキャナ15の操作ミス等により確認画像116に不備があると、顧客に再取得を促すことができる。尚、契約情報及び確認情報が、一画面に関連して表示されるため、各情報を同時に、対比して参照させ、更なる予備確認の精度及び速さの向上を図ることができる。又、確認画像116が、スキャナ15とCCDカメラ16との組み合わせにより取得され、身分証及び顔に係り構成されているので、これらを付き合わせることによって顧客の本人確認を確実に成し得る。

【0056】加えて、在庫マスタ44の在庫数が0であることを通知して販売を取りやめる在庫無し時中止手段を備えたので、契約が成立するのであれば携帯電話の発送が確実にできる態勢を整えることができる。又、再受付コード126を格納可能なトランザクション46、及び端末からの再受付コード126の通知により、保存した関連契約情報を読み出し利用する続行手段とを有するため、時間外でも携帯電話の販売を受け付けることができ、再受付も手早く行える。更に、保存した契約情報を前もって照会しておく再照会手段を有するので、再受付を極めて速やかに行えるし、照会時間外しか空いてない顧客にも携帯電話を販売することができる。

【0057】一方、端末2が、契約情報118の入力を促す契約取得手段と、確認画像116の入力を受け付ける画像取得手段とを備えるので、契約に必要な契約情報118と、その情報を裏付ける確認画像116とを、携帯電話の販売のため販売サーバ4に送信することができる。

【0058】又、端末統括サーバ3が、端末2と販売サーバ4とに介装されているため、既存の端末2、2・・・を利用して携帯電話の販売ができるし、確認画像116や契約情報118のみを販売サーバ4に与え、画面ファイル25に基づく各端末2の表示処理等は端末統括サーバ

3で行うようにして、情報更新の容易化、販売サーバ4の動作の良好化、全体的な処理及び通信の効率化を図ることができる。更に、端末統括サーバ3に確認画像データベース26が格納されており、販売側に確認画像116を蓄積しないので、販売側で確認画像116の管理をせずに済むし、再受付の場合等には確認画像116を引き出すことができるし、プライバシーに配慮することもできる。加えて、端末統括サーバ3に機種マスタ24を配したので、携帯電話特有の、契約情報118の内容乃至種類の変化に、端末統括サーバ3の情報を更新し端末2・・・に配信するだけで対応することができる。

【0059】次に、携帯電話販売システム1による、機種変更に係る販売の方法について、新規販売の場合との相違点を中心に説明する。尚、同様な機能を行う部分には、新規販売の場合と同一の符号を付す。

【0060】機種変更は、各種プログラム11、21、41に従って図17のように行われ、まず、新規販売と同様の事業者選択（ステップ100）を行う。そして、契約情報118としての、変更に係る機種に割り当てられている携帯電話番号304の入力を促す（ステップ302）。入力された携帯電話番号304は、販売サーバ4に通知され、利用の実績を照会される（ステップ306）。照会結果は、ディスプレイ48に表示する。そして、新規販売の場合と同様、これら照会の表示を基に、実績通知308が端末統括サーバ3に通知される。尚、照会時間外であると、新規販売の場合と同様に、再受付コード126を発行し、トランザクション46を調整する。

【0061】端末統括サーバ3は、受信した実績通知308を確認し（ステップ310）、料金滞納等の実績があると販売を中止し（ステップ312）、今回の契約に差し障る実績がなければ、機種選択（ステップ102）以降を、新規販売と同様に行う。但し、契約情報118の内、住所、請求書送付先、氏名、生年月日等は、携帯電話番号304に対応する、前の契約のものを表示し、変更部分の入力を促す。又、契約情報の照会（ステップ128）は、実績照会（ステップ306）の結果を利用することにより、簡易に行い、或いは省略することができる。更に、同一の通信事業者間での機種変更等の場合には、電話番号表示（ステップ136）はせず、使用してきた携帯電話番号304と同一の番号を、発送する携帯電話に入力して調整する。

【0062】このように、携帯電話販売システム1では、機種変更に係る販売も、新規販売と同様、円滑に行えるし、契約情報118の一部として、変更前の携帯電話番号304を、住所等の前に取得するので、予め実績を照会して契約の可否を素早く返答することができるし、対応する住所等を表示して顧客の入力の手間を軽減することができる。

【0063】続いて、予め自宅や職場等にあるコンピュ

ータ（顧客端末）から契約情報を事前に受け付けておき、端末で販売を完了する場合について、上記部分と同様な機能を行う部分には同一の符号を付して説明する。

【0064】図18はこの場合の全体説明図であって、携帯電話販売システム60は、新規販売のシステム1と、同様なネットワークに、入力フォームサーバコンピュータ（フォームサーバ）61、及びインターネットOを介してフォームサーバ61に接続された顧客端末S、T・・が加わってなる。

【0065】フォームサーバ61は、図19（a）のように、端末統括サーバ3と同様になるが、world wide webサーバコンピュータ（WWWサーバ）であり、統括通信手段21は専用網Nとは独立してインターネットOに接続される。又、フォームサーバ61は、統括プログラム（及び画面ファイル）として、トランザクション27等に入出力し、hypertext markup language（HTML）を供給可能なcommon gateway interface（CGI）65を備えていると共に、確認画像データベースが省略されている。又、顧客端末Sは、図19（b）のように、端末2と同様になるが、端末プログラムはブラウザ63であると共に、タッチパネルは入力機能のないモニタ64であり、又スキャナ、CCDカメラ、テンキー、スピーカ及びハンドセットは省かれ、更にポインティングデバイス67とキーボード68が追加されている。

【0066】このような携帯電話販売システム60における事前受付の手順を、図20に示す。顧客は、顧客端末Sにおいて、事前受付のため、ブラウザ63を起動し、所定のアドレスを入力してフォームサーバ61にアクセスする（ステップ400）。フォームサーバ61は、アクセスを受けると、CGI65により、適宜インターネットOのページ（サイト）検索機能や、広告、ニュース等を提供するポータルページを介して、新規か機種変更かを選択や通信事業者の選択を受けるページ402をhypertext transfer protocol（HTTP）に従ってアクセス元へ送信する（ステップ404）。顧客端末Sにおいては、ページ402で各種選択を受け付け（ステップ406）、この選択408はフォームサーバ61に送信されてCGI65に解釈される。

【0067】そして、secure sockets layer（SSL）に従って、新規の場合には図21、図22のような、機種変更の場合には図23のような入力フォーム410・・を順に送信し（ステップ412）、契約情報の事前入力を促す（ステップ414）。各入力フォーム410は、ブラウザ63によって解釈されたうえで、モニタ64のウインドウ内等において表示される。又、各入力フォーム410においては、入力ボックス、プルダウンメニュー、ラジオボタン、チェックボックス等が適宜組み合わせられ、ポインティングデバイス67やキーボード68等での入力の便宜が図られているし、機種を選ぶと、その機種情報104のみが一旦フォームサーバ61に通

知され、フォームサーバ61のCGI65は、機種マスタ24中の対応する本体画像116を返信し、ブラウザ63において参考のため更新表示される。本体画像116の更新は、色を選択した場合も同様である。

【0068】顧客が必須事項やその他の情報を入力し、次へボタンへの入力を行うと、暗号化された契約情報118がフォームサーバ61に送信され、統括制御手段20によりCGI65を介してトランザクション27に格納される（ステップ416）。又、統括制御手段20は、再受付コード126と同様、事前受付コード418を発行し、確認画像116以外の契約情報118を関連づけて格納すると共に、顧客端末SにSSLで通知し、顧客端末Sのみに提示する（ステップ420）。又、機種変更において図24に示すように、契約情報の確認表示をSSLで行い、新規の場合にも同様に表示する。尚、必須の契約情報が入力されないと、入力不足している旨表示したページを一定時間表示した後に、再度入力フォーム410を表示する。

【0069】更に、フォームサーバ61は、一定条件（例えば所定時間経過、所定時刻到来又は所定入力受付）毎に、トランザクション27内の事前受付コード418と契約情報118とを、販売サーバ4に通知しておく（ステップ422）。販売サーバ4は、受信した契約情報118及び事前受付コード418を、トランザクション46に格納する（ステップ424）。又、格納した契約情報118は、受付時間外の際と同様に、通信事業者A、B・・への照会をしておき、照会結果432を得、対応づけて格納しておく（ステップ426）。

【0070】そして、顧客は端末2が設置された店舗等に行き、所定の入力後に事前受付コード418を、端末2に入力する（ステップ428）。事前受付コード418は再受付コード126の場合と同様に、販売サーバ4に通知され、対応する契約情報118及び照会結果432が呼び出され、照会結果432が端末2に通知される。端末制御手段10は照会結果432を確認し（ステップ434）、契約を中止する（ステップ436）か、確認画像の取得（ステップ114）以降を新規販売と同様に行うか、判断する。尚、照会に伴い、在庫マスタ44を参照し、在庫が無ければ契約を中止（ステップ436）する。又、ステップ120は、契約情報118が取得されていれば行わない。

【0071】携帯電話販売システム60では、販売サーバ4が、確認画像116を端末2から受信する一方、契約情報118を端末2とは異なる顧客端末Sから受信するような販売通信手段41（分散的通信手段）により、契約情報118のみを取得して販売サーバ4に送信する顧客端末Sと、確認画像116を取得して販売サーバ4に送信する端末2とを別個に設けたので、顧客端末Sを自宅や職場等に配置しながら、端末2を各種店舗等に配置するといったように、それぞれの適所に設置すること

ができる。そして、顧客端末 S から契約情報 118 を受信することで、上記のような事前受付を行え、顧客に慣れた環境で時間をかけて比較検討しながら契約情報 118 を事前に入力してもらえ、事前受付で得た契約情報 118 を、販売サーバ 4 において、予め照会しておくことができる。又、契約に不可欠な確認画像 116 を、一定の出所から、安全且つ確実に取得することができる。そして、これらのことにより、確認画像 116 を入力し契約を完了しに来た顧客に、端末 2 を通じてすぐに（例えば、端末 2 において全ての契約情報 118 を入力する場合の、3 分の 1 程度の時間で）契約の可否を報知し、完結することができる。

【0072】更に、販売サーバ 4 は、確認画像 116 を、端末 2 から専用網 N のみを経由して受信すると共に、契約情報 118 を、顧客端末 S からインターネット O を経由して、フォームサーバ 61 及び専用網 N を介し受信する、販売通信手段 41（選択的通信手段）により、契約情報 118 のみを取得する顧客端末 S が、インターネット O を介して販売サーバ 4 と接続されるため、分散的通信手段の場合と同様な環境及び時間短縮による利便性を、簡単に設置できる顧客端末 S、T・・・によって、多くの様々な顧客に与えることができる。又、確認画像 116 を取得する端末 2 が、顧客端末 S とは異なり、専用網 N のみを介して販売サーバ 4 と接続されるので、比較的契約情報 118 より重要な確認画像 116 の出所を保ち、又特に通信中の安全性を確保することもできる。尚、端末 2 にはハンドセット等の販売サーバ 4 側との連絡手段が設けられているので、所定形式への合致や読み取り方向等への配慮が必要で比較的に操作が難しく誤り易い、確認画像 116 の入力の際に、必要に応じ質問を受け付け、或いは案内をすることができる。又、インターネット O の接続においては、SSL により通信を暗号化しているので、契約情報 118 も第三者に見られることがなく、安全である。更に、フォームサーバ 4 を独立させることにより、販売サーバ 4 に重い負担をかけることなく契約情報 118 を収集でき、販売格納手段 42 中の情報に不正に侵入される事態を防止することができる。

【0073】尚、本発明は、以上の実施形態に限定されるものではなく、次に一部示すように様々な変更可能である。端末及び各種サーバは、専用網又はインターネットを介した接続形態に限られず、公衆網を介する等他の接続形態を採用することができる。販売サーバと照会システムとの接続形態も同様であり、契約情報をファクシミリにて入出力することもできる。サーバと端末との処理能力の優劣は如何様にもでき、例えば多数の端末を属させるためサーバの処理能力を比較的に多大にしても良いし、サーバと端末の処理能力が対等でも良い。販売サーバと端末とは、情報の更新が販売サーバ或いは端末において担保されるのであれば、端末統括サーバを仲立ち

とせず直接接続され、情報をやり取りしても良い。各端末の構成は、統一したり、互いに相違させたりすることができる。

【0074】CCD カメラによる確認画像の取得は、スキャン時に付随させる必要はなく、他のあらゆるタイミングで行うことができるし、様々な間隔にて複数回行うこともでき、複数回行う場合にあっては必要に応じ取捨選択することによって確認の目的に供し得る確認画像をより確実に得ることができる。更に、確認画像は、身分証の画像につきカメラ等他の画像化手段によって取得されても良いし、顧客の顔についても同様であり、又、顔と身分証の画像の組み合わせではなく、上半身乃至全身の画像、或いはタッチパネルやタブレットにて取得される筆跡、又はこれらの組み合わせ等とすることができる。

【0075】各種コンピュータの各機能は、各種通信手段において複数のルータを接続したり、ファイヤウォール専用のコンピュータを設けたり、又情報のためのコンピュータを別に接続したり、各種サーバを複数設けたりする等、同一ネットワーク上に置かれた別装置にて、適宜協働して実現されるようにしても良いし、フォームサーバの機能を販売サーバでおこなう等、同一装置で実現されるようにしても良い。通知や情報の入出力のタイミングは、契約情報及び確認画像を、全て揃ってから販売サーバに送信せずに、各々入力の都度送信するといったように変更できる。各種制御手段及び記録手段における記憶の揮発性の有無は便宜的なもので、逆にしたり組み合わせたりすることができる。端末における入力手段は、タッチパネル、テンキー、スピーカ及びハンドセットや、ポインティングデバイス及びキーボードの組み合わせに限られず、キーボードのみ等としたり、これらの組み合わせとしたりする等様々なでき、各種サーバにおいても同様である。

【0076】各種入出力は、適宜記録媒体を用いて行っても良い。再受付コードやパスワードは、バーコードや、記録媒体に記録した一意の情報とすることができる。バーコードの場合、端末にバーコードリーダを付加して、入力を簡単にすることができる。又、再受付時の照会は、再受付コード発行後の照会時間であればいつでも行えるし、混雑時間の回避、処理の分散といった要請に基づき、タイミングを調整することもできる。

【0077】加えて、端末にクレジットカード等のリーダを設け、名義、住所、預金残高、ローン可能額等の決済情報を取得し、或いはクレジットカード番号及びパスワード（暗証番号）の入力を受け付けて決済情報を取得する決済取得手段を設けると共に、いずれかのサーバに、販売金額が預金残高又はローン可能額以下である場合には、販売金額を決済者（決済システム）に通知して、後に販売金額を受ける決済手段を配して、決済機能を持たせても良く、決済を簡潔化して更に販売を円滑に

できる。更に、契約不可時において、少なくとも所定回の料金未納の場合には、販売サーバがその旨を端末に通知して、料金を納付した場合には契約可能である旨等の表示をしたり（未納表示手段）、決済機能により納付を受けて契約を続行したり（納付続行手段）でき、3か月分程といった未納であれば、その場で納付のうえ販売を完結できる等、利便性が飛躍的に向上する。又、決済情報としての販売金額を数字若しくはバーコード等のコードとして記載したバウチャーを出力するプリンタを備え、バウチャーによって店舗等で決済しても良い。

【0078】メニューの配置や遷移、又は表示内容等は、様々に取捨選択或いは変更することができ、表示内容にあっては、コードのみ或いはその説明との組み合わせによることが可能であるし、一度に表示する範囲も、契約情報及び確認画像を別々に表示したり、確認画像を拡大表示する別画面を設けたりする等、様々に変更可能である。通知する情報の種類或いは情報を取り出す際に用いる情報の種類は、在庫数問合せの際に機種名しか送らなかったり、更に別の種類を追加したりできる。加えて、不備通知は、契約情報等の種類分設ける必要はなく、同一画面で入力させた種類毎といった契約情報等のグループ分、又は1種類のみ設けて良い。又、全ての契約情報を入力し直させるべくメインメニュー等に戻らせる不備通知を設けることができる。

【0079】又、端末や販売サーバ等は、新規販売、機種変更、契約完了又は事前受付のためのいずれかの機能のみを行うようにして、各々の専用とすることができ、いずれか2つ又は3つの機能を複合して搭載することもできる。更に、事前受付を店舗等の端末において行うことができるし、応答性は比較的に劣るが、最後に照会するので予め照会しないようにもできる。フォームサーバが在庫マスタを参照できるようにし、事前受付時に在庫の有無をCGIにより顧客端末に報知することもできる。事前受付は、決済機能、未納表示手段又は納付続行手段と組み合わせて良い。又、フォームサーバはWWWサーバでなくても良いし、SSLやHTTPに従ってHTMLを通信せず、secure HTTP(SHTTP)や公開鍵方式等の形式においてextensible markup language (XML) や standard generalized markup language (SGML) 等を通信することができる。

【0080】更に、複合的通信手段及び選択的通信手段も、販売通信手段でなくそれぞれ別々の手段で行えるし、選択的通信手段における、インターネット接続機能と専用網接続機能も別の手段にて行うことができる。又更に、選択的通信手段に関し、同一の端末から、契約情報をインターネット経由で、又確認画像を専用網経由で販売サーバに送信することができる。加えて、確認画像を取得する端末において、契約情報の一部を取得するようにして良い。尚、確認画像を送信する専用網は、専用線のみから構成されたものに限られず、送信のタイミン

グ、変調方法等の調整や暗号化等により、擬似的に或いは機能的に専用線と同様となっている線を含み構成されたものも含み、各種網、線等は無線を含んで良い。

【0081】

【発明の効果】本発明のうち、請求項1に記載の発明は、携帯電話販売方法において、端末から得た契約情報を、通信事業者に送信する前に、サーバコンピュータにおいて表示するので、契約情報に関する予備的な確認を速やかに実行するよう支援することができ、無駄な契約情報の照会を防止して、契約が付随する携帯電話の端末による販売を円滑に進めることができる、という効果を奏する。

【0082】又、請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の発明において、サーバコンピュータが通信事業者から取得した携帯電話番号を表示するので、上記効果に加えて、通常の商品にはない、契約に伴う携帯電話の調整を手早く行え、携帯電話の販売を円滑に完了することができる、という効果を奏する。

【0083】更に、請求項3に記載の発明は、請求項1、請求項2に記載の発明において、サーバコンピュータ側で在庫数を確認するので、上記効果に加えて、契約を仲介したにも関わらず携帯電話を発送できず、販売が遅延して顧客に迷惑をかける事態を防止できる、という効果を奏する。

【0084】又更に、請求項4に記載の発明は、請求項1から請求項3に記載の発明において、通信事業者が照会できない場合に再受付コードを発行して契約情報を保存し、再利用に供することとしたので、上記効果に加えて、時間に関係なく携帯電話の販売を提供できる、という効果を奏する。

【0085】加えて、請求項5に記載の発明は、請求項4に記載の発明において、再利用に先立ち、保存した契約情報を照会しておくので、上記効果に加えて、時間外の場合も速やかに販売できる、という効果を奏する。

【0086】又、請求項6に記載の発明は、請求項1から請求項5に記載の発明において、端末で取得した顧客の確認画像を、サーバコンピュータにおいて表示するので、上記効果に加えて、顧客が端末により契約しているか否かの本人確認を素早く簡単且つ厳重に実行できるよう補助することができ、端末を利用した携帯電話販売にあってもなりすまし等による契約の不備を簡易に回避できる、という効果を奏する。

【0087】更に、請求項7に記載の発明は、請求項6に記載の発明において、確認画像を取得する端末が別個に設けられているので、契約情報の入力を、顧客が慣れた環境で受け付けることができるし、本人確認のための確認画像の質を保つことができ、更に契約の完了を手早く行うことができる、という効果を奏する。

【0088】加えて、請求項8に記載の発明は、請求項6、請求項7に記載の発明において、契約情報のみを取

得する端末がインターネットを介して接続されているため、顧客は自宅等に簡単に比較検討しながら契約情報を入力できるし、確認画像の質を保ったまま、幅広い顧客から契約情報を受け付けることができ、契約の完了も早い、という効果を奏する。

【0089】一方、請求項9に記載の発明は、携帯電話販売システムのサーバコンピュータに、契約表示手段と、通信事業者への照会手段とを設けたので、販売に係る契約の初期確認を的確に補助し、契約不可の場合には、通信事業者に照会することなく、契約販売の中止や再度の契約情報の入力案内をすることができ、端末を介して携帯電話販売を効率良く円滑に行える、という効果を奏する。

【0090】又、請求項10に記載の発明は、請求項9に記載の発明において、販売に係る携帯電話番号を表示する調整補助手段を設けたので、上記効果に加えて、他の商品にはない発送前の携帯電話の調整を一連の流れで行え、販売を円滑に完了できる、という効果を奏する。

【0091】更に、請求項11に記載の発明は、請求項9、請求項10に記載の発明において、在庫格納手段及び在庫無し時中止手段を設けたので、上記効果に加えて、在庫状況に即した販売を行え、契約が成立したが携帯電話の発送ができず、顧客に迷惑をかけることを防ぎ得る、という効果を奏する。

【0092】又更に、請求項12に記載の発明は、請求項9から請求項11に記載の発明において、再受付手段と続行手段とを設けたので、上記効果に加えて、いつでも携帯電話の販売を受け付けることができ、再受付も速やかに実行できる、という効果を奏する。

【0093】加えて、請求項13に記載の発明は、請求項12に記載の発明において、再照会手段を設けたので、上記効果に加えて、再受付時に照会時間でなくても、照会時間内に照会を済ませておくことで販売を可能とし、又、再受付を極めて手早く行える、という効果を奏する。

【0094】更に、請求項14に記載の発明は、請求項9から請求項13に記載の発明において、確認表示手段を設けたので、上記効果に加えて、確認画像を参照可能とし、契約情報の信頼性を確認することができる、という効果を奏する。

【0095】又、請求項15に記載の発明は、請求項14に記載の発明において、分散的通信手段を設けたので、上記効果に加えて、確認画像と契約情報とを、適所から取得することができる、という効果を奏する。

【0096】加えて、請求項16に記載の発明は、請求項14、請求項15に記載の発明において、選択的通信手段を設けたので、上記効果に加えて、契約情報の入力につき、慣れた環境にて幅広く提供することができ、確認画像の安全性が確保され、契約完了も円滑に行える、という効果を奏する。

【0097】他方、請求項17に記載の発明は、携帯電話販売システムの端末にあって、契約取得手段と画像取得手段とを設けたので、契約に必要な情報と、その情報を裏付ける確認画像とを併せてサーバコンピュータに送信することができ、販売を円滑に受け付けることができ、という効果を奏する。

【0098】又、請求項18に記載の発明は、請求項9から請求項17に記載の発明において、端末統括サーバコンピュータを設置したので、上記効果に加えて、既存の端末ネットワークを利用して、導入費用を削減し、又顧客にすぐ慣れてもらうことができるし、必要最小限の情報をサーバコンピュータに送ることで、携帯電話販売における処理や通信の経済性及び信頼性、そして端末の表示の応答性を向上することができる、という効果を奏する。

【0099】更に、請求項19に記載の発明は、請求項14から請求項17に記載の発明において、端末統括サーバコンピュータに確認画像データベースを配置したので、上記効果に加えて、再受付の場合等には確認画像を引き出すことができる一方、販売側に確認画像を蓄積せずプライバシーに配慮することができる、という効果を奏する。

【0100】加えて、請求項20に記載の発明は、請求項18、請求項19に記載の発明において、端末統括サーバコンピュータに機種情報を配したので、上記効果に加えて、機種や契約内容が刻々と変化しても、端末統括サーバコンピュータの情報を更新し配信するだけで容易に追従できる、という効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】携帯電話販売システムの全体説明図である。

【図2】端末のブロック図である。

【図3】端末統括サーバのブロック図である。

【図4】機種マスタの説明図である。

【図5】販売サーバのブロック図である。

【図6】(a)在庫マスタ、(b)情報マスタの説明図である。

【図7】携帯電話の新規販売についてのフローチャートである。

【図8】端末におけるメインメニューの表示説明図である。

【図9】端末における機種選択時の表示説明図である。

【図10】端末における個人氏名入力時の表示説明図である。

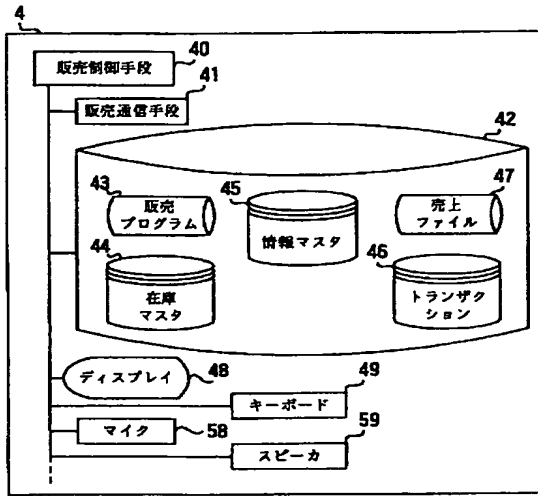
【図11】端末における個人生年月日入力時の表示説明図である。

【図12】端末における料金プラン選択時の表示説明図である。

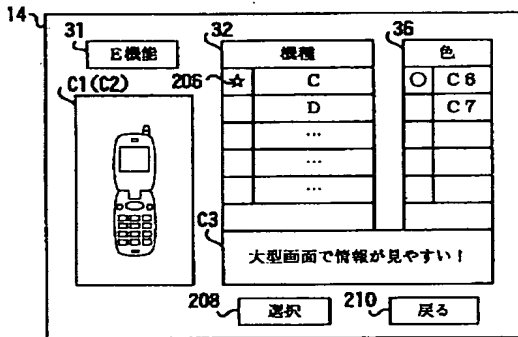
【図13】端末におけるオプション選択時の表示説明図である。

【図14】端末における金額確認時の表示説明図であ

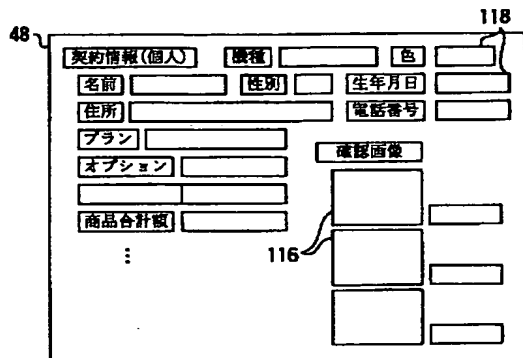
【図5】



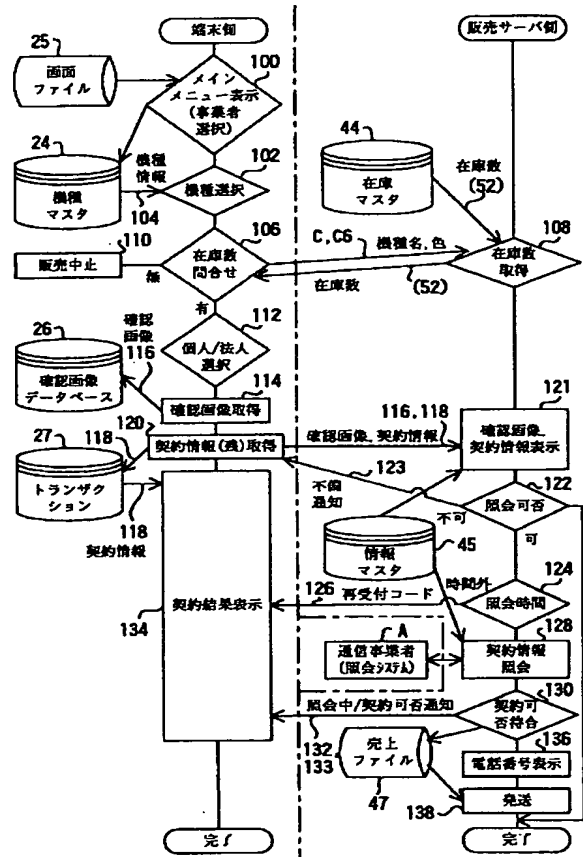
【図9】



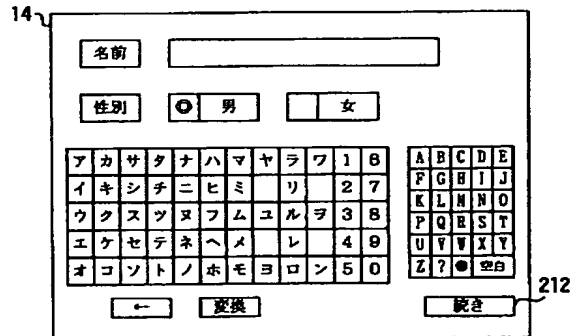
【図15】



【図7】



【図10】



【図11】

14

生年月日

大正 年

昭和 月

平成 日

西暦

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ← 脱き

212

【図12】

14

料金プラン番号を選択して下さい 1

プランK 1

プランL1 2 プランL2 3

プランM1 4 プランM2 5

プランM3 8

ダイヤル通話料金明細サービス 希望 ☐

脱き

212

【図13】

14

ネットワーク商品番号を選択して下さい 1

留守番電話 1 年契約割引 2

パケット通話サービス番号を選択して下さい 1

シリーズP

基本 1 その他 2

シリーズQ シリーズR

ライト 1 スーパーE 2 脱き

212

【図14】

14

お買い上げ品の金額を表示します。

契約事務手数料

標準セット

オプション

小計

消費税

合計

脱き

212

【図16】

13

契約情報を表示しますので、ご確認ください。

名前

郵便番号

請求書送付先

電話番号

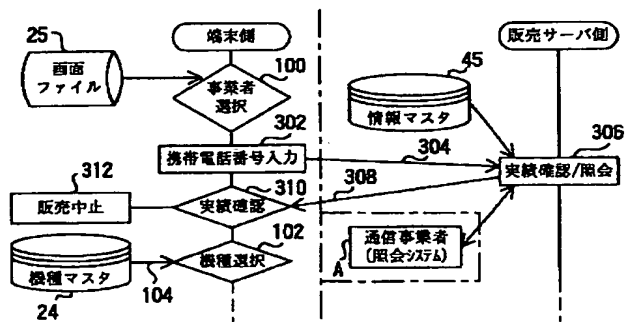
選択した機種・色

合計金額

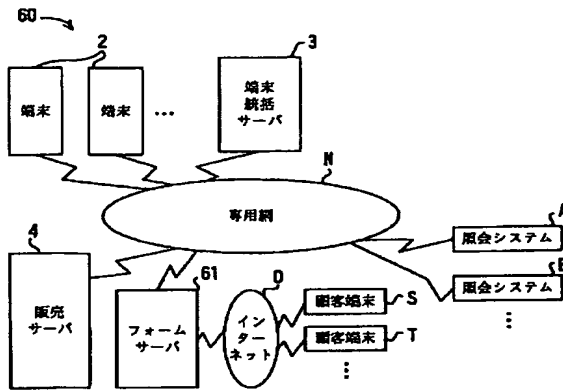
取消

214

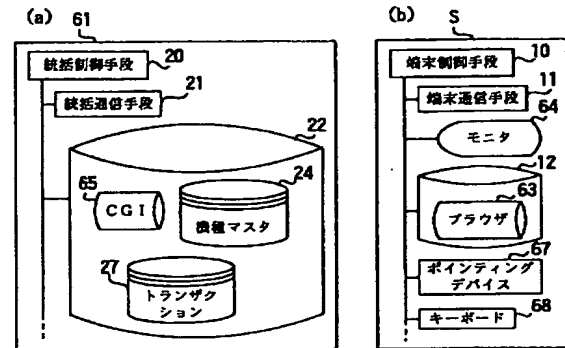
【図17】



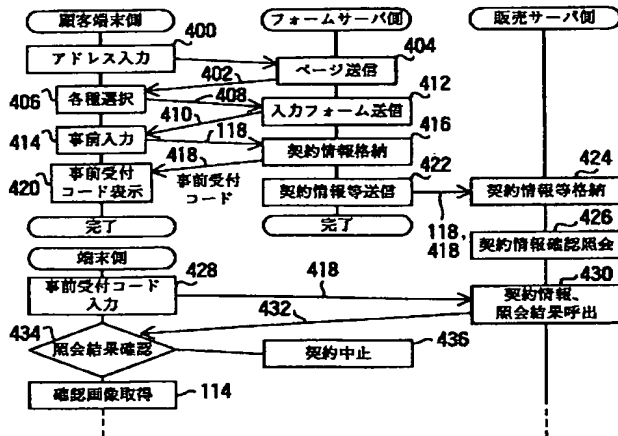
【図18】



【図19】



【図20】



【図21】

画面上の項目を入力・選択してください。 受付年月日

1. 携帯電話のご契約者名

フリガナ 生年月日 年 月 日
 ご氏名 性別 ☒ 男 ☐ 女
 郵便番号 -
 ご住所
 ご契約住所の一般電話番号 - -
 ご連絡先
 ご連絡先電話番号 - -

2. 料金お支払口座のご指定

フリガナ ご氏名
 金融機関名 銀行 支店
 金融機関コード 種目 ☒ 普通 ☐ 当座
 口座番号

3. 料金領収書等のお届け先(指定される場合は入力して下さい)

フリガナ ご契約住所の一般電話番号
 ご受取人名 - -
 郵便番号 -
 ご住所

次へ

【図22】

4. ご利用の機種情報 受付年月日

機種名
 機種番号
 機種色
 暗証番号
 暗証番号確認

5. パケット通信サービス

Pシリーズ(28.8kbps)
 基本 ☒ その他 ☐

Qシリーズ(9600bps) Rシリーズ(9600bps)
 スーパーライト ☒ その他 ☐ ライトプラン+通話 ☒ その他 ☐

6. 利用の方式

デジタル 800M ☒ デジタル 1.5G ☐

7. 料金プラン(プランを1つ選択し、サービス申込の場合はチェックして下さい。)

プランK ☐ プランL1 ☐ プランL2 ☐
 プランM1 ☐ プランM2 ☐ プランM3 ☐
 料金明細サービス ☐ 留守番電話 ☐ メール ☐

次へ

【図23】

画面上の項目を入力・選択して下さい。すべて必須項目です。
入力が終わりましたら、画面右下の「次へ」を押して下さい。

お名前 受付年月日

ご利用中の携帯電話番号 電話番号


ご住所 〒

ご希望の機種を選択して下さい。
 ▼

E機能契約のご指定
 ▼

ご来店される端末設置店舗を選択して下さい。
 ▼

上記端末設置店舗の住所



【図24】

以下の機種変更情報を確認して下さい。
よろしければ、画面右下の「完了」を押して下さい。

お名前 電話番号

ご住所 〒

希望機種名 色

金額 E機能契約

優遇施策

ご来店名

お客様へ：

受付番号

商品の問合せまで、受付番号を大切に保管して下さい。